オンライン 希少がんセミナー！

希少がん Meet the Expert

動画アーカイブス

※動画配信はセミナーの一部のみとなります。

第1回 子宮肉腫の診断と外科治療

収録日 2022年9月22日

子宮肉腫は、腫瘍化する細胞の種類により子宮平滑筋肉腫、子宮内膜間質肉腫などに分類されます。症状・診断、手術について解説しています。

第2回 原発不明がんて、どんな病気？どんな治療があるの？

収録日 2022年10月28日

国立がん研究センター × 九州大学

転移した病気しか見つからず、出どころ（発生した場所）が分からないがんを「原発不明がん」と呼びます。検査や治療について解説しています。

第3回 神経内分泌腫瘍

収録日 2022年11月25日

－PRRT（ペプチド受容体核医学内用療法）を中心に－

PRRTとは、放射線（β線）を点滴にて投与し、神経内分泌腫瘍に発現しているソマトスタチン受容体を介して、腫瘍内部から腫瘍を破壊し抗腫瘍効果を得る画期的な治療法です。PRRTの適応、効果、具体的な方法について解説しています。

第4回 肉腫（サルコーマ）とともに生きる

収録日 2022年12月9日

国立がん研究センター × 九州大学

肉腫（サルコーマ）には沢山の種類があり、手術で良好な成績が得られるものから、抗がん剤や放射線も組み合わせた集学的な治療を必要とするものまでさまざまです。切除が困難な場合の肉腫診療、チーム医療などについて解説しています。

第5回 GIST診療の現在とこれから

収録日 2022年12月23日

国立がん研究センター × JCHO大阪病院

診断、遺伝子変異、アジュバント療法、2022年に改定されたGIST診療ガイドラインや承認されたピミテスピブ、欧米での新薬などGIST診療の現状などについて解説しています。

主催：国立がん研究センター希少がんセンター・希少がん中央機関

オンライン 希少がんセミナー！

希少がん Meet the Expert

動画アーカイブス

※動画配信はセミナーの一部のみとなります。

第6回 悪性黒色腫（メラノーマ）

収録日 2023年1月20日

－最新の治療と副作用対策－

悪性黒色腫は皮膚がんの一種です。悪性度の高い腫瘍ですが、最近は治療の選択肢が増え治療成績の向上がみられます。治療の最新情報とともに安全に治療を行うために注意すべき副作用について解説しています。

第7回 肛門がん

収録日 2023年1月27日

国立がん研究センター ×大阪国際がんセンター

肛門がんは非常に“まれ”ながん種ですが、多くの場合は放射線治療と抗がん剤を組み合わせることで治癒が期待されます。現在の標準治療や治療開発について解説しています。

第8回 骨軟部腫瘍の病理診断

収録日 2023年2月3日

国立がん研究センター × 九州大学

病理診断ってなんだろう？ 良性か悪性か、誰がどうやって調べているのだろうか？ 肉腫（サルコーマ）をはじめとする、骨や軟部組織に発生する腫瘍の病理診断について解説しています。

第9回 日本のがん医療と希少がんを考える 希少がんへの新たな挑戦！

収録日 2023年2月10日

特別企画として、日本のがん医療を担っている国立がん研究センター理事長の中釜斉先生、大阪国際がんセンター総長の松浦成昭先生、ゲストとしてフリーアナウンサーの笠井信輔さんをお迎えし、日本のがん医療の進むべき方向、希少がんの課題を解決するための新たな挑戦について語っていただきました。

第10回 AYA世代とがん

収録日 2023年2月17日

－心理・社会的課題について－

国立がん研究センター × AYA研

AYA世代（15歳～39歳）でがんになると、さまざまな心理、社会的な課題や困難があります。取り組みなどについて解説しています。

主催：国立がん研究センター希少がんセンター・希少がん中央機関

オンライン 希少がんセミナー！

希少がん Meet the Expert

動画アーカイブス

※動画配信はセミナーの一部のみとなります。

第11回

外陰・腟がんの手術について

収録日 2023年3月3日

外陰・腟がんは“まれ”ながんで、治療経験を持つ医師が少ないのが現状です。今回は症状・診断、手術（再建術も含め）について解説しています。

第12回

膵神経内分泌腫瘍の手術

-小っちゃく取るとは？ 大っきく取るとは？-

収録日 2023年3月24日

膵神経内分泌腫瘍は“まれ”ながんで、腫瘍のスピードが遅く、手術が有効と言われています。今回は症状・診断・手術（腹腔鏡手術も含め）について解説しています。

第13回

悪性腹膜中皮腫

国立がん研究センター ×愛知県がんセンター

収録日 2023年4月7日

代表的には胸膜発生の悪性中皮腫が知られますが、心膜、腹膜などほかの部位にも発生することが知られています。今回は腹膜発生の悪性中皮腫に焦点を当て、現在の治療や治療開発への展望について解説しています。

第14回

乳房外パジェット病

収録日 2023年4月14日

乳房外パジェット病は希少がんである皮膚がんの中でも頻度6%という希少がん中の希少がんです。その上、皮膚表面にあってよく見えているにもかかわらず腫瘤を形成しないため“がん”にみえず、確定診断までに時間がかかるやっかいな疾患です。本来、進行は緩やかで早期発見できれば十分に治すことができる腫瘍です。症状・診断・治療など大切な情報を解説しています。

第15回

MASTER KEY プロジェクト

-希少がんだからこそ出来ることがある-

収録日 2023年5月19日

「MASTER KEY プロジェクト」とは、希少がんのゲノム医療・治験を推進する産学共同プロジェクトです。本プロジェクトを通して、これまで治療の機会が限られていた希少がん患者さんに、全国どこからでも治験に参加できる機会を提供し、その結果としてより多くの新薬を届けることを目指しています。

主催：国立がん研究センター希少がんセンター・希少がん中央機関

オンライン 希少がんセミナー！

希少がん Meet the Expert

動画アーカイブス

※動画配信はセミナーの一部のみとなります。

Rare Cancer Center

第16回 皮膚リンパ腫

収録日 2023年5月26日

国立がん研究センター × 国際医療福祉大学

皮膚リンパ腫は皮膚に生じるリンパ腫で希少な病気です。診断が困難で、初期段階では他の皮膚の病気と間違えられることもしばしばあります。皮膚リンパ腫の診断と臨床像、局所治療、薬物治療について解説しています。

第17回 希少な肝胆膵がん

収録日 2023年6月16日

- “まれ”でも治療開発のチャンスを見逃さない！-

神経内分泌腫瘍・神経内分泌がんのみならず、膵腺房細胞がん、粘液がん、類上皮血管内皮腫など、今まで取り上げられる機会の少なかった肝胆膵領域の「希少な組織型」の症状・診断・治療について解説しています。

第18回 希少がん診療・研究における腫瘍内科の役割

国立がん研究センター ×東北大学×九州大学

収録日 2023年6月23日

腫瘍内科は臓器横断的に様々ながん種における診断や治療、治験・臨床試験などを行う診療科です。特に担当の診療科がわかりづらい希少がんにおいて、腫瘍内科医の果たす役割は大きいと考えられます。今回は、国立がん研究センター、東北大学、九州大学において希少がん診療・研究に携わっている腫瘍内科医が、それぞれの立場から解説しています。

第19回 悪性胸膜中皮腫

収録日 2023年7月7日

国立がん研究センター × 兵庫医科大学

中皮腫の発生部位の中で最も多い悪性胸膜中皮腫の診断、外科治療、薬物療法について解説しています。

第20回 肉腫（サルコーマ）

収録日 2023年7月21日

- 適切な診断と治療 -

国立がん研究センター ×大阪国際がんセンター

肉腫は“まれ”な悪性腫瘍（希少がんの一種）です。肉腫は希少がんにもかかわらず、体のさまざまな部位から発生し、種類も非常に多くなっています。正しく診断し、それぞれの腫瘍の特徴に合わせた治療を行うことが大切です。肉腫の診断と治療を骨発生と軟部発生に分けて解説しています。

主催：国立がん研究センター 希少がんセンター・希少がん中央機関